

### <対策のポイント>

平成30年7月豪雨による被害を踏まえ、全国のため池の緊急点検や「ため池対策検討チーム」における現地調査、被災の要因分析等を基に、**防災重点ため池のあり方を見直す**とともに、**下流の家屋等に被害を及ぼすおそれの high ため池について、緊急的・総合的な対策を支援**します。

### <政策目標>

下流の家屋や公共施設等に被害を与える可能性のあるため池における災害の未然防止

## <事業の内容>

### 1. ハード対策

豪雨・地震対策等のため池整備、二次被害が想定されるため池の廃止等の支援を強化します。

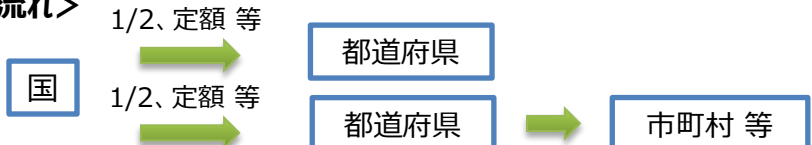
- 豪雨による決壊の防止や耐震性向上のためのため池の改修等について、**必要な対策の一体的な実施を可能**とします。
- 利用されていない、もしくは利用率が低く災害リスクの high ため池の廃止の強化（定額助成の上限の拡充）、廃止に伴い必要となる代替水源の整備を実施可能（定額助成の創設）とします。

### 2. ソフト対策

下流の家屋等に被害を及ぼすおそれの high ため池を対象として、計画的に防災対策を推進するための詳細調査、ハザードマップの作成、ため池の監視・管理体制の整備等の支援を一層強化します。

- ため池の地震・豪雨に対する詳細調査を行い、整備計画を策定します（定額助成の期間延長及び上限の拡充）。
- ハザードマップ作成等の減災対策を支援します（定額助成の期間延長及び上限の拡充）。
- 監視カメラや水位計等の遠隔監視システムの導入、監視・管理体制の強化を支援します（定額助成の創設）。

### <事業の流れ>



## <事業イメージ>

### ハード対策

ため池の整備



整備前



整備後

ため池の廃止

(堤体を開削し、水が溜まらないようにしたもの)



### ソフト対策

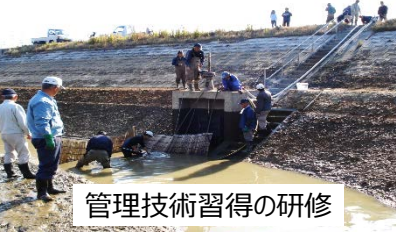
ハザードマップの作成



監視・管理体制の強化



監視カメラの設置



管理技術習得の研修